

2025 年 4 月 23 日

『みんなのスポーツ』4 月号(No.512)から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の4月号は「多様化が織りなす地域社会の未来とスポーツ推進委員の連絡調整」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を3点記載します。



- (1) 「スポーツの価値」の更なる向上を目指して を読んでいて、4 月 19 日横須賀市議団が議員提出議案として検討している「(仮称)スポーツ振興条例」案に関する市民との意見交換会があり参加しました。基調講演の中で講師からアイスブレイクで「**スポーツの価値**」問いかけられた。個々人で考え、ペアワークで、その後の全体発表を経て講師より、文化・教育・健康増進・経済活性化・コミュニティ再生・地域交流・観光・外交・エコ活動・・・である、その**役割が柔軟・多様だからこそ、様々な活動の土台となることを学んだ**。今回の冊子にも東日本大震災や能登半島地震での内容が紹介されており、会社に勤務していたころ東北 南三陸町に 1000 数百人の新入社員とともに 4 月第 3 週くらいに1週間支援作業を 6 年間入った時に学んだこと・気づいたことが思い出された。今横須賀でも能登半島地震を機に様々なことが取り組まれている。ボランティアの立場で登録も行っているが、色々なことにできる範囲で関わっていきたい。
- (2) わが町の健康・体力づくり 福島県南相馬市～人に健康を、まちに元気を～ この記事を読んで感じたことは、毎月1回「健康スポーツ教室」を開催し、ニュースポーツの体験会や大会、体力測定会・ハイキングなどを継続して行っていること。毎回参加されている方は変わるが、**笑い声や笑顔が絶えない場**との事。**自分の学区内でも定期的に行っているが同じである**。**2 月 25 日のニュースポーツ交流大会も同じ**ようであった。この雰囲気継続して今年度の活動につなげていきたいと思っています。
南相馬市の負担で購入した用具の貸し出しやスポーツ推進委員が出張で要請のあった運動会やイベントにも対応。様々なニーズに対応しながら、**ニュースポーツの楽しさやコツを指導し、地域や地域の人々の「絆」を深め、より強固なものになるように取り組んでおられるところは共感**しました。

*5 月の総会の時に横須賀市スポーツ推進委員協議会の用具一覧は配布します。
どうぞ活用していただき地域を笑顔や笑い声にあふれるようにしましょう！！
- (3) 理論3 部活動の地域展開とスポーツ推進委員への期待 横須賀の場合地域展開は教育委員会が主導で進めています。中学校の入学式に伺った際に、校長先生から今年度から生徒数の減少・部員の減少や教員の働き方改革の一環で中学校の部活動は近隣の 2 つの中学校と連携を取りスポーツ関係も文化関係も＝競技・活動の部も絞り進めていくとの話がありました。

理論3のページ 19 図1 地域クラブ活動の課題上位4つ(①指導者の量の確保 ②持続可能な

収支構造の構築 ③参加費用負担への理解 ④自治体・学校と運営団体・実施主体との連携体

制の構築)への対応・取り組みが必要である。地域の特性を踏まえ、地域スポーツの推進に関わる関係者(ステークホルダー)が力を集め改革に取り組む必要がある。横須賀の場合スポーツ推進委員協議会は首長部局であり、教育委員会との連携や定期的な情報交換が必要のように思う。

今月号では3つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことでできることから始めて(行動)みませんか？

* **本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがある**ように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合と横須賀ではこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど20年近く購読していて思います。特にここ1、2年で冊子内容が読者参加型の編集になりました。

活動は是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上